

【平成 30 年度定例分】

市民と市長と気楽にトークでの意見交換についてご紹介します。

市民の方から	市長から
UJi ターンをして来られた人には減税をする等の優遇措置をとって人口増加につなげていくことは難しいでしょうか。	定住につなげる仕組みは色々考えられます。なお、企業においては業績をしっかりと出して税を納めることで地域に貢献するという考えを持っている方もいらっしゃいます。税は税としてしっかりと納めていくことが基本だと考えています。
7 月の豪雨で感じたことですが、地区の公民館が避難所として指定されているものの、全員が避難できるような広さがないように思います。また、海沿いにある公民館などは津波の場合には避難所として機能しないのではないのでしょうか。	避難場所については、台風や地震など災害の種類によって場所が変わりますので改めてご確認をお願いします。ただ、公共施設の広さや立地条件など避難場所としての課題があることは認識しています。
防災関連の情報をラジオなどで連絡してもらえないでしょうか。	7 月の豪雨のときも防災放送がよく聞こえなかったという意見をいただきました。音声放送が聞き取れなかったときは「防災行政無線電話対応サービス」、電話番号 0820-23-6400 をご利用ください。また、防災メールだとより確実に情報を受け取ることが出来ますので、ぜひ防災メールの登録をよろしく願いいたします。
7 月の豪雨のときには各世帯を回って避難するよう促したのですがあまり効果がなかったように思います。	避難の判断については、家の状況、周辺の状況、個人個人の体力の状況等により、何が危険でどこに避難するのか非常に難しい問題です。今回の件も踏まえ、防災意識を高める取り組みと災害が起きたときの対応をあらかじめ考えておくことが大切です。
人口増加の取り組みとして、婚活パーティーを開催してみてもどうでしょうか。	婚活パーティーについては 1 市 4 町で年 3 回ほど開催しています。イベント内容を工夫しながら継続していきたいと考えています。。
周辺に空き家が沢山ありますが、市に相談するところはあるですか。	まだ利用できる空き家については、持ち主の方に空き家バンクへの登録をお願いしており、貸し出すときの改修費の補助制度などもあります。危険空き家については情報をいただければ市から持ち主へ連絡するなどしています。
過去に土砂崩れが起こった場所について今一度情報提供をまとめてはどうでしょうか。	危険箇所についてはぜひハザードマップの活用をお願いします。(土砂災害ハザードマップは平成 28 年 4 月に全戸配布しています。)

<p>小学校の体育館のトイレが和式しかないので洋式にして欲しいのですが。</p>	<p>全市的な課題ではありますが、現在市内小中学校のまったく洋式トイレがないところから優先的に整備をしていきます。</p>
<p>学校の教室の仕切りがないため夏は暑く、冬は寒いです。エアコンをつけてもらえないでしょうか。</p>	<p>今年の夏の全国的な猛暑を受け、国は公立学校の教室へのエアコン設置を考えていくとのことです。柳井市では今年度、特別支援学級への設置を進めています。来年度以降も国からの補助をいただきながら設置できるよう努めてまいります。（平成 31 年度中に市内全小中学校にエアコンを設置することが決まりました。）</p>